



平成30年9月27日・9月号

# 光が丘二中 学校だより

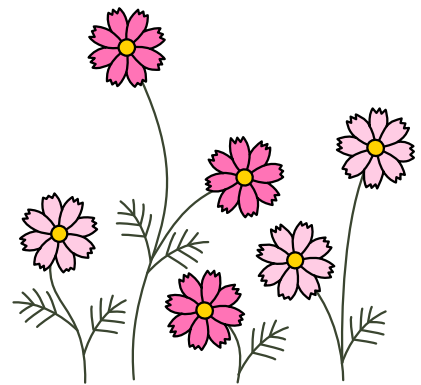
TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

## 「生命の重さ」

校長 中山 徹

今年の夏は「酷暑」の中、様々な自然災害が起きました。台風、河川の氾濫、高潮、暴風等による事故があいつぎ、生命の大切さ、重さについて考えさせられる機会が多くありました。また、事故の未然防止、被害を最小限に食い止める工夫が必要なことなどについても、私たちはその重要性を再認識したことと思います。

さて、話は変わりますが…。私は、特に生命の重さについて考えたとき、1年数ヶ月前に神奈川県相模原市の障害者施設で起こった殺傷事件のことを思い出さずにはられません。あのような事件は二度と起こってほしくありません。



実は…、私は20歳代の時、教員として障害のある子供たちと5年間過ごしました。そのような体験があるものですから、相模原での事件をきっかけに、「自分の体験、特に障害のある子どもたちとのふれあいについて、文章にして伝えていきたい」と強く考えるようになりました。前任校でも。拙い文章ではありましたが、学校だよりにその想いを綴りました。

それとほぼ同じ内容になってしまうのですが、今回、光が丘第二中でも、その想いを皆さんにお伝えしていきたいと考えました。

\*

\*

\*

昭和50年代後半、私は東京都立学校教員として採用され、都立J養護学校（現在は特別支援学校）に配属されました。J養護学校は肢体不自由の児童生徒が通う学校で、小学部、中学部、そして高等部がありました。

たくさん児童生徒たちとの思い出があります。その中でも、特に印象に残っている3名の教え子たちがいました。

M君は、新採1年目の時に出会った生徒です。高等部3年生でした。体幹機能障害があり、歩行も不十分で、また言葉での会話はできない生徒でした。知的障害もあり、また人見知りも激しいのですが、なぜか私のことはとても「気に入って」くれまして、毎朝登校時、到着したスクールバスまで迎えに行くと、強い力で私を抱きしめ「熱烈歓迎」を何度もしてくれました。最初は戸惑ってばかりでしたが、彼との関わりの中で、「私が励まされている…」、そんな思いをもつようになりました。

「息子は障害があるけど、人を見る目は鋭いんです。先生のこと大好きなようですよ。息子の表情や態度を見ればわかります。頑張ってください！」と、その生徒のお母さんから励まされ、私は新米教員としての日々を送りました。

S君は、彼が中学部3年の時から高等部3年まで、私が4年間担任した生徒です。ダウン症で心臓に障害があり、歩行もやや不自由な生徒でした。とても明るい性格で、特に歌うことが（お世辞にも上手とは言えないのですが…）大好きでした。

彼は、自分の考えていること、思っていることなどを、素直に（というか遠慮せずに）どんどん「ぶつけて」きてくれました。「先生のダジャレはつまらないけど、今日の授業は面白かったよ。」というようなストレートな表現です。

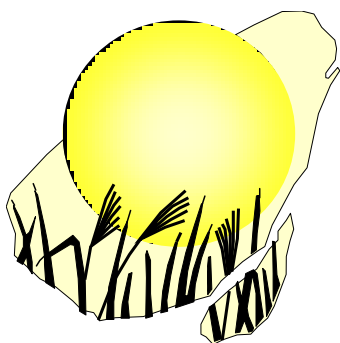
我が家の長女が生まれたとき、その話を教室ですると、「先生、よかったね！。赤ちゃん、かわいいよね～！。名前はなんてつけたの？。 パパ、頑張っ！。」と、一緒に、そしてこちらが想像している以上に喜んでくれる、優しい感性をもった生徒でもありました。

T君も、彼が中学部3年の時から高等部3年まで、私が4年間担任した生徒です。脳性マヒのため歩行が不安定で、また発声はできるのですが言語障害がある生徒でした。私が言うことは十分理解してくれるのですが、彼は自分の言いたいことを口から発する言葉としてなかなか表現できません。

意志疎通は、いつも彼が首にからぶら下げている「文字板」を活用しての会話でした。彼は五十音の1字1字を指でさしていきます。うまく伝わらないときは、何度も何度も、繰り返し文字板を指さしました。そして、自分の言いたいことが伝わると、顔をクシャとさせて表情を緩め、嬉しそうに大きな声をあげ、喜んでいました。とても頑張り屋さんでした。

この3人のほかにも、脳性マヒのため食事・排泄等に介助が必要な児童生徒、筋ジストロフィーという病気のため全身の筋肉が弱くなっていく児童生徒など、養護学校には障害がある子供たちが100名以上在籍していました。常に車椅子や補助装具、そして、医療的なケアも含め周囲の人々の援助が必要な子供たちばかりでした。

保護者の方々は、お子さんのことを愛し、可愛がり、そして「卒業後の進路のこと」「親亡き後のこと」をいつも心配していました。そういったお父さん、お母さんたちからも、言葉だけでなく、その生き様からたくさんのお子さんのことを学ばせていただいたように思います。



私の教師生活もいよいよ終盤となりましたが、振り返ってみると、1校目のJ養護学校での生徒たちとの数々の思い出が今でも鮮明に心に焼き付いており、その経験が自分の教員としての考え方、ものの見方、そして判断の礎になっていると強く感じています。

1つ1つの生命には、かけがいのない重さがあり、存在価値があります。そのことを教えてくれたM君（50歳代前半で亡くなりました）、S君（30歳代後半に亡くなりました）、また40歳代後半になったT君（今も施設で働いています）、そして、社会で、地域で頑張っている、また頑張っていたJ養護学校卒業生たちへ、私は今でも強い敬愛の念を抱かずにはられません。

## <お知らせ>

9月25日より、理科の講師 井口博史先生が任用となりました。昨年ご退職されるまで公立中学校で授業をされていました。2学年の授業が中心となります。よろしくお願いたします。

## <生徒の活躍> 別紙に続きます



# 光が丘第二中 学校だより

## <生徒の活躍>

### ★練馬区連合陸上競技大会

3年女子100mハードル<第7位>3年3組女子1名

### ★第19回 JQA 地球環境世界児童画コンテスト

<国内入選>3年3組女子1名

### ★新体操

第71回練馬区民体育大会 クラブ<第3位>2年3組女子1名

立川市新体操競技会ジュニアフレンドシップ

団体クラブ<第3位>2年3組女子1名



### ★ソフトテニス部

第57回東京都中学校総合体育大会

女子個人<第3位>3年1組1名 3組1名

女子団体<準優勝>3年1組2名 2組1名 3組1名 2年1組1名 3組1名 1年2組1名

第48回関東中学校ソフトテニス選手権大会

女子個人<第5位>3年1組1名 3組1名

第71回練馬区民体育大会中学校ソフトテニス大会

女子個人<優勝>2年1組女子1名 3組女子1名

第55回練馬区中学校生徒総合体育大会ソフトテニス

女子個人<優勝>2年3組女子1名 2組女子1名

女子団体<第3位>2年1組女子1名 3組女子1名 1年1組女子2名 1年2組女子2名



### ★柔道部

第67回東京都中学校対抗柔道大会<第7位>3年1組男子5名 3組男子2名

東京都第3ブロック柔道新人大会<第3位>2年1組男子1名 1年1組2名

2組男子1名 3組男子1名

### ★アルティメット部

第5回全国ユースアルティメット選手権大会

中学生部門<第3位>3年1組男子4名 2組男子1名 3組男子2名

中高生女子部門<準優勝>3年1組女子3名 2組女子1名 3組女子3名

### ★書道部

公益財団法人日本武道館 第34回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会

毛筆の部<大会奨励賞>2年3組女子1名 <特選>2年2組女子1名 <金賞>2年2組女子1名

硬筆の部<大会奨励賞>3年1組女子1名・2年2組女子1名<特選>2年2組女子1名

<金賞>2年2組女子1名<銀賞>2年2組女子1名

